

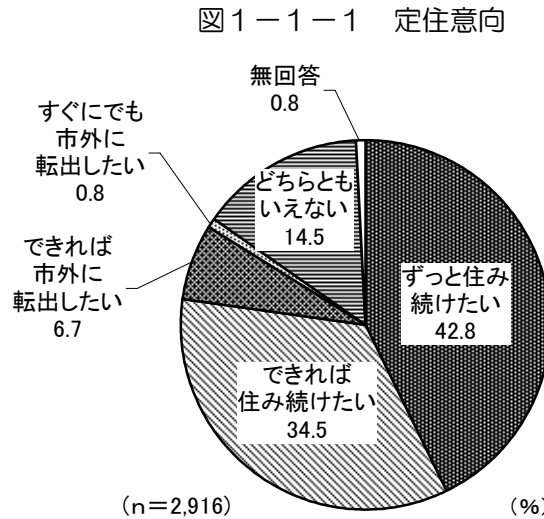
### Ⅲ. 意識調査結果



# 1 暮らしの状況

## (1) 定住意向 (A・B：問1)

問. 厚木市にずっと住み続けたいですか。(1つだけ選んでください)



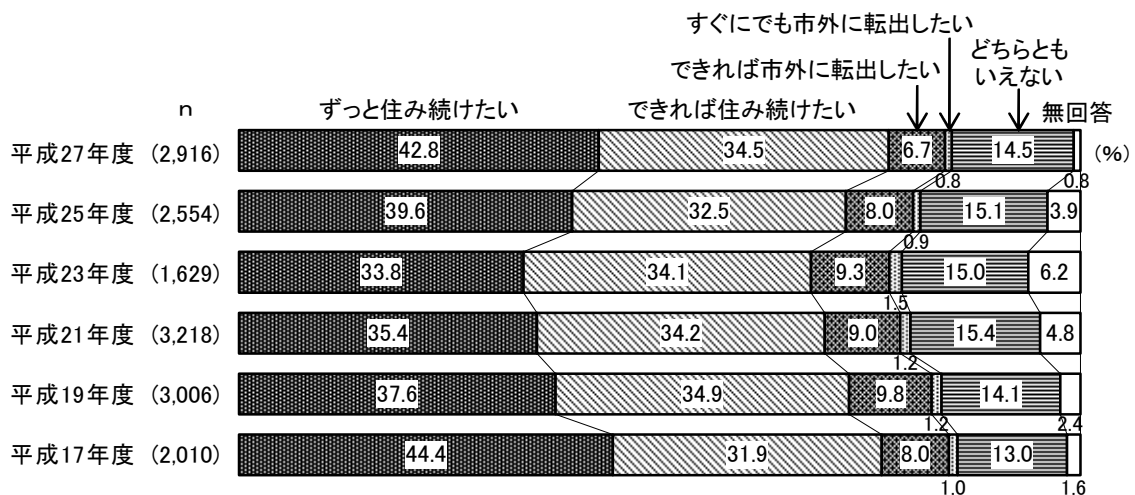
### 【全体】

厚木市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」(42.8%)が4割を超え、これに「できれば住み続けたい」(34.5%)を合わせた『定住意向』(77.3%)は8割近くとなっている。一方、「できれば市外に転出したい」(6.7%)と「すぐにでも市外に転出したい」(0.8%)を合わせた『転出意向』(7.5%)は1割未満となっている。

### 【経年変化】

経年による変化を見ると、『定住意向』(77.3%)は前回調査(72.1%)より5.2ポイント増加し、平成23年度調査(67.9%)以降増加傾向にある。

図1-1-2 定住意向—経年変化

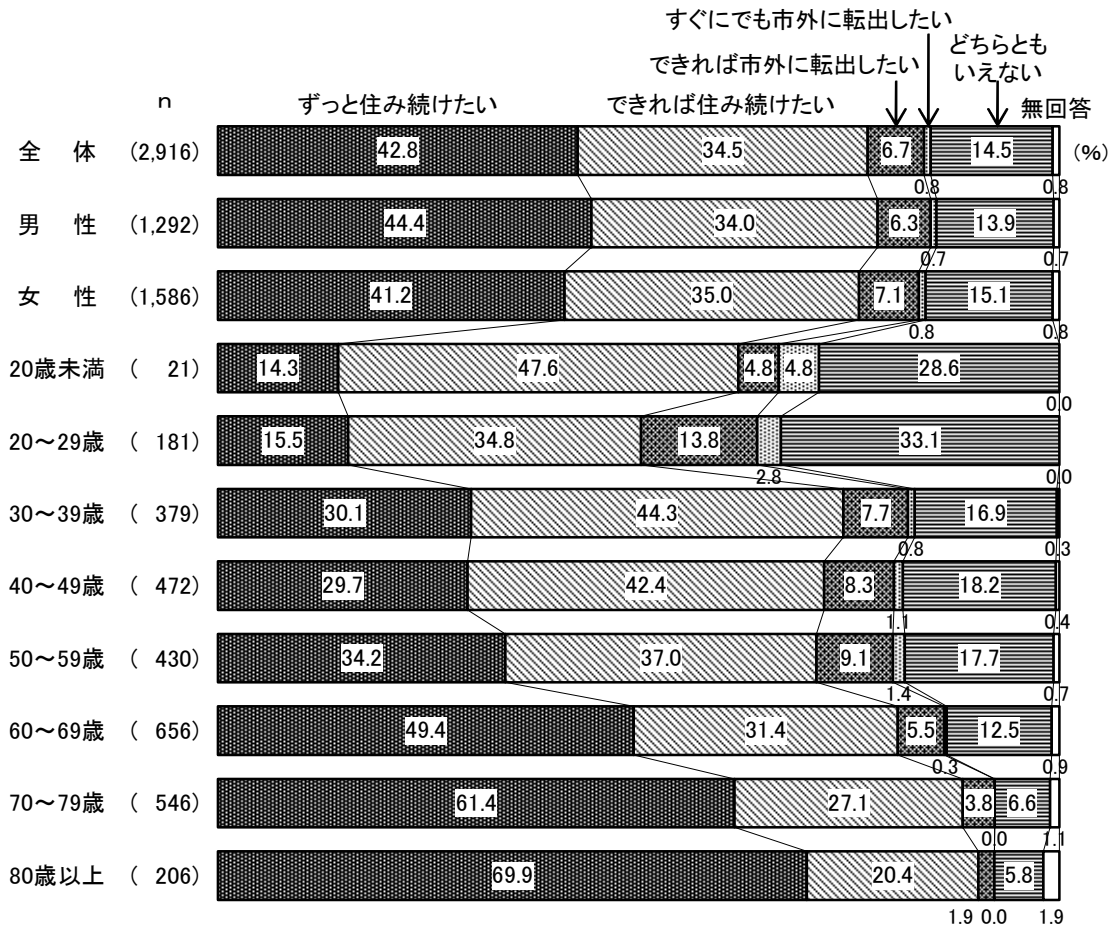


【属性別】

性別で見ると、男性では『定住意向』（78.4%）が女性（76.2%）より2.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『定住意向』は80歳以上（90.3%）で約9割、70～79歳（88.5%）で9割近くと高くなっている一方、20～29歳（50.3%）では約5割にとどまっている。

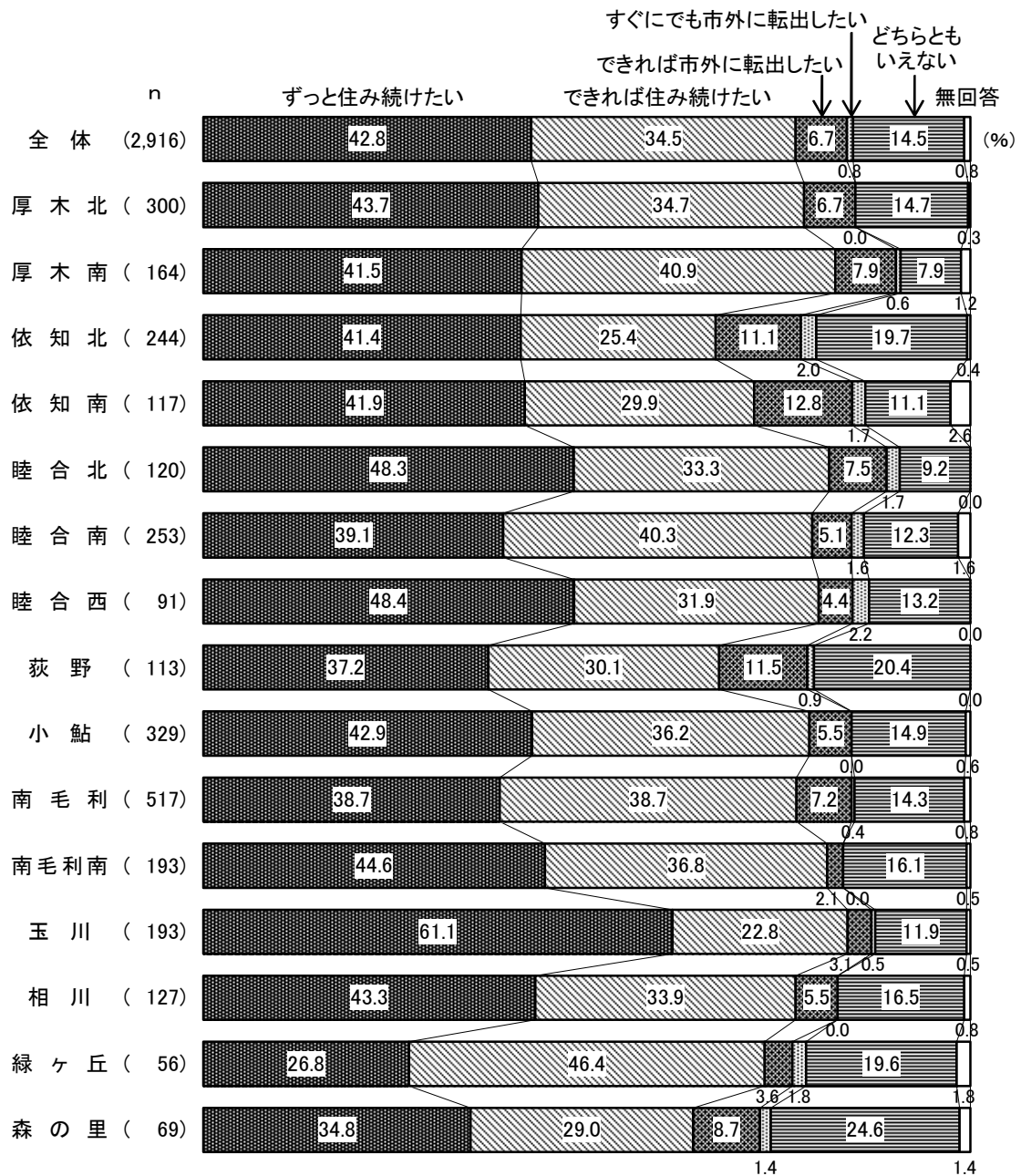
図1-1-3 定住意向—性別、年齢別



【属性別】

居住地区別で見ると、『定住意向』は玉川（83.9%）が最も高く、このほか厚木南（82.4%）、睦合北（81.6%）、南毛利南（81.4%）、睦合西（80.3%）で8割台となっている一方、森の里（63.8%）、依知北（66.8%）、荻野（67.3%）では6割台にとどまっている。

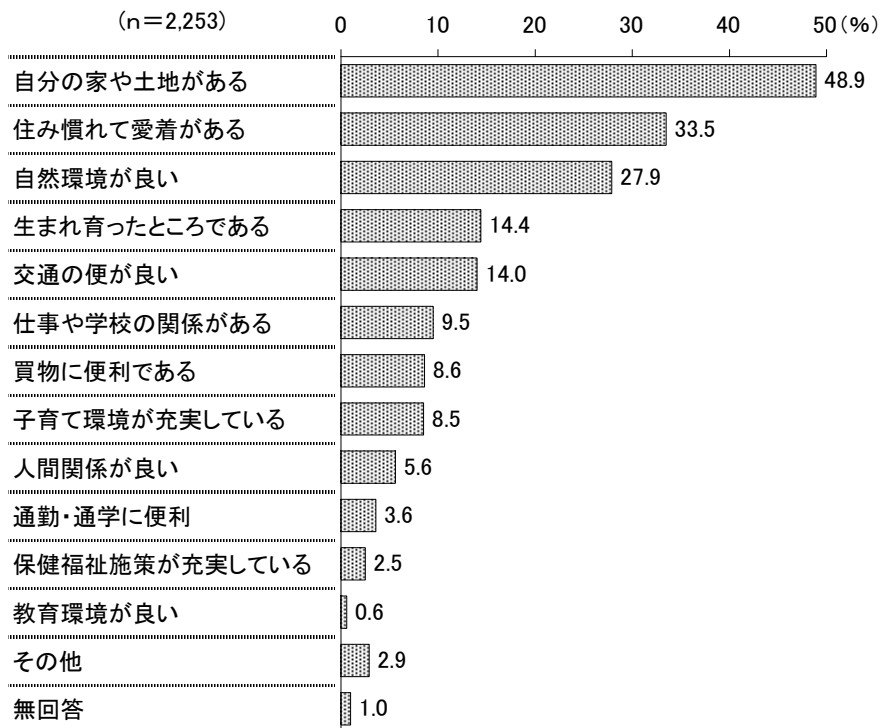
図1-1-4 定住意向—居住地区別



## (2) 住み続けたい理由 (A・B:問2)

問. 「住み続けたい」とお答えの方の理由は何ですか。(2つまで選んでください)

図1-2-1 住み続けたい理由



### 【全体】

厚木市に「ずっと住み続けたい」または「できれば住み続けたい」と答えた2,253人に、住み続けたい理由について聞いたところ、「自分の家や土地がある」(48.9%)が5割近くで最も高く、次いで「住み慣れて愛着がある」(33.5%)、「自然環境が良い」(27.9%)、「生まれ育ったところである」(14.4%)、「交通の便が良い」(14.0%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「自分の家や土地がある」（48.9％）は前回調査（44.1％）より4.8ポイント増加し、「子育て環境が充実している」（8.5％）は前回調査（5.1％）より3.4ポイント増加している。一方、「自然環境が良い」（27.9％）は前回調査（32.0％）より4.1ポイント減少している。

表1-2-1 住み続けたい理由—経年変化

調査年	n	(%)													
		自分の家や土地がある	住み慣れて愛着がある	自然環境が良い	生まれ育ったところである	交通の便が良い	仕事や学校の関係がある	買物に便利である	子育て環境が充実している	人間関係が良い	通勤・通学に便利	保健福祉施策が充実している	教育環境が良い	その他	無回答
平成27年度	2,253	48.9	33.5	27.9	14.4	14.0	9.5	8.6	8.5	5.6	3.6	2.5	0.6	2.9	1.0
平成25年度	1,842	44.1	32.2	32.0	13.4	15.0	9.3	9.9	5.1	5.3	4.5	3.5	0.5	3.3	0.8
平成23年度	1,106	52.8	33.4	31.0	13.5	12.6	9.0	6.6	4.4	6.1	5.2	2.9	0.4	3.4	2.3
平成21年度	2,237	54.7	35.0	29.8	14.9	12.5	9.4	7.3	-	5.7	3.6	2.8	1.2	2.0	0.7
平成19年度	2,178	53.9	35.2	30.9	15.2	10.1	8.3	9.1	-	7.0	2.9	3.4	0.6	1.7	2.2
平成17年度	1,534	53.4	42.6	27.4	25.2	11.3	6.4	8.7	-	5.3	2.4	2.4	0.7	1.0	0.3

（注）平成23年度調査以降、「子育て環境が充実している」を追加しているため、平成21年度以前は参考に掲載する。

【属性別】

性別で見ると、男性では「自然環境が良い」(31.5%)が女性(24.6%)より6.9ポイント、「自分の家や土地がある」(52.0%)が女性(46.2%)より5.8ポイント高くなっている。一方、女性では「住み慣れて愛着がある」(35.1%)が男性(31.9%)より3.2ポイント、「子育て環境が充実している」(10.0%)が男性(6.8%)より3.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、80歳以上では「自分の家や土地がある」(61.8%)が6割を超えて高くなっている。20～29歳では「仕事や学校の関係がある」(29.7%)が約3割と高くなっている。30～39歳では「子育て環境が充実している」(35.5%)が3割半ばと高くなっている。

居住年数別で見ると、20年以上(移り住んで以来)では「自分の家や土地がある」(57.0%)が6割近くと高く、「住み慣れて愛着がある」(42.3%)が4割を超えて高くなっている。

表1-2-2 住み続けたい理由—性別、年齢別、居住年数別

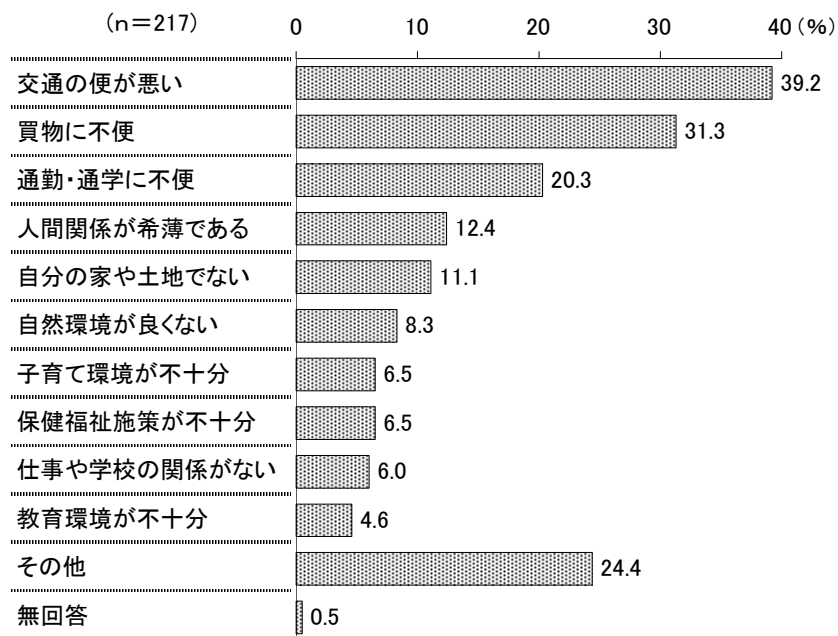
		n	自分の家や土地がある	住み慣れて愛着がある	自然環境が良い	生まれ育ったところである	交通の便が良い	仕事や学校の関係がある	買物に便利である	子育て環境が充実している	人間関係が良い	通勤・通学に便利	保健福祉施策が充実している	教育環境が良い	その他	無回答
全 体		2,253	48.9	33.5	27.9	14.4	14.0	9.5	8.6	8.5	5.6	3.6	2.5	0.6	2.9	1.0
性別	男 性	1,013	52.0	31.9	31.5	14.2	13.5	10.3	6.8	6.8	5.0	5.2	1.8	0.4	2.7	0.8
	女 性	1,208	46.2	35.1	24.6	14.7	14.6	8.9	9.9	10.0	6.1	2.2	3.1	0.7	2.9	1.2
年 齢 別	20 歳 未 満	13	15.4	30.8	38.5	15.4	7.7	38.5	15.4	-	-	-	7.7	-	-	-
	20 ～ 29 歳	91	18.7	27.5	14.3	18.7	13.2	29.7	12.1	31.9	2.2	12.1	1.1	3.3	1.1	-
	30 ～ 39 歳	282	35.8	24.1	24.8	19.9	11.3	13.1	4.3	35.5	2.8	6.0	2.8	1.1	2.8	0.4
	40 ～ 49 歳	340	40.3	32.4	19.7	19.1	13.2	20.6	7.1	14.4	3.8	8.2	2.1	1.2	3.5	0.9
	50 ～ 59 歳	306	54.2	36.3	23.5	13.4	17.0	13.4	8.8	2.0	4.9	5.6	2.0	0.7	2.6	0.3
	60 ～ 69 歳	530	56.0	39.8	30.4	12.6	13.8	4.7	9.4	0.8	7.5	0.9	1.3	-	2.8	1.5
	70 ～ 79 歳	483	52.8	33.5	34.8	9.7	16.4	1.2	11.0	-	6.6	0.2	4.1	0.2	2.5	1.4
	80 歳 以 上	186	61.8	30.1	34.4	14.5	10.2	0.5	6.5	1.1	8.1	-	3.2	-	3.8	1.1
居 住 年 数 別	20年以上(生まれてからずっと)	648	51.7	35.3	21.3	40.4	8.8	5.9	4.2	8.0	4.0	1.7	0.5	0.3	1.4	0.9
	20年以上(移り住んで以来)	973	57.0	42.3	30.8	2.8	14.2	5.7	8.7	3.3	6.8	2.2	2.6	0.1	2.9	1.1
	10～19年(生まれてからずっと)	23	43.5	13.0	34.8	13.0	26.1	4.3	13.0	4.3	-	4.3	4.3	-	13.0	-
	10～19年(移り住んで以来)	263	41.1	27.4	26.2	3.8	20.2	18.3	13.3	11.4	6.1	4.2	2.3	1.5	3.8	0.8
	5 ～ 9 年	145	26.9	11.0	35.9	2.1	15.9	21.4	11.7	23.4	6.2	9.7	6.9	1.4	4.1	1.4
	3 ～ 4 年	75	24.0	16.0	32.0	12.0	17.3	17.3	10.7	24.0	5.3	12.0	5.3	-	5.3	-
	2 年 以 下	100	25.0	4.0	28.0	7.0	22.0	26.0	15.0	23.0	3.0	12.0	7.0	4.0	2.0	-



(3) 市外に転出したい理由 (A・B：問3)

問. 「転出したい」とお答えの方の理由は何ですか。(2つまで選んでください)

図1-3-1 市外に転出したい理由



【全体】

「できれば市外に転出したい」または「すぐにでも市外に転出したい」と答えた217人に、市外に転出したい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」(39.2%)が約4割で最も高く、次いで「買物に不便」(31.3%)、「通勤・通学に不便」(20.3%)、「人間関係が希薄である」(12.4%)、「自分の家や土地でない」(11.1%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、上位3項目については前回調査と同じ順位となっている。

表1-3-1 市外に転出したい理由—経年変化

調査年	n												(%)	
		交通の便が悪い	買物に不便	通勤・通学に不便	人間関係が希薄である	自分の家や土地でない	自然環境が良くない	子育て環境が不十分	保健福祉施策が不十分	仕事や学校の関係がない	教育環境が不十分	その他	無回答	
平成27年度	217	39.2	31.3	20.3	12.4	11.1	8.3	6.5	6.5	6.0	4.6	24.4	0.5	
平成25年度	227	38.3	31.3	19.4	11.9	14.1	3.5	1.3	5.3	4.0	3.1	30.8	0.0	
平成23年度	177	41.2	29.4	22.0	8.5	14.1	8.5	7.9	6.2	5.6	6.2	22.6	2.8	
平成21年度	329	45.0	33.1	19.5	10.3	10.6	12.2	-	8.5	5.2	10.6	18.5	0.3	
平成19年度	331	42.3	25.4	26.0	7.6	10.0	12.4	-	9.1	5.4	10.9	23.6	0.3	
平成17年度	182	45.1	33.5	28.0	6.0	3.8	12.6	-	9.3	7.1	8.8	23.6	0.0	

(注) 平成23年度調査以降、「子育て環境が不十分」を追加しているため、平成21年度以前は参考に掲載する。